

【別紙様式】

鯖江市は、新型コロナウイルス感染症への対応として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、制度要綱に定める交付対象事業の要件「新型コロナウイルス感染拡大の防止及び感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活の支援を通じた地方創生に資する事業」に該当する以下の事業を実施します。

事業名	福井鉄道福武線支援事業 (地域公共交通事業を実施する者に対する支援金：福井鉄道株)		
総事業費 (千円)	9,720千円	交付金関連事業費 (交付対象経費) (千円)	4,499千円
事業概要	<p>①目的 新型コロナウイルス感染症の影響により停滞している地域公共交通の安定運行に向け、福井鉄道福武線車両の検査費および修繕費を沿線3市(福井市、越前市、鯖江市)で緊急支援を行うことで、地域公共交通事業の継続を図り、地域公共交通事業の縮小・廃止等による鯖江市民の生活への悪影響を回避する。</p> <p>②交付金を充当する経費・算定根拠 委託費 15,050千円 [内訳] 全般検査(F1002号車) 10,000千円 重要部検査(772-3号車) 5,050千円  工事請負費 15,380千円 [内訳] 修繕費(772-3号車) 9,380千円 車輪交換(F1002号車) 6,000千円  上記の合計30,430千円のうち30,000千円について、福井市補助金11,670千円(38.9%)、越前市補助金8,610千円(28.7%)、鯖江市補助金9,720千円(32.4%)、残りの430千円については福井鉄道株が自社負担にて対応。</p> <p>③交付対象 1) 交付対象者 地域公共交通(鉄道)事業を実施する者(福井鉄道株式会社) 1者  2) 交付対象者の選定理由・選定方法 地域公共交通事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で採算が悪化しているが、多くの市民の移動手段としてなくてはならない交通基盤であり、将来に亘り安全・安定した運行を維持していく必要がある。これまで事業者は、市民生活や経済活動を支えていくため、車内の消毒・換気など感染拡大防止策を講じながら、運行を続けてきており、これに代わる事業は存在せず、地域公共交通事業の縮小、廃止等は、鯖江市民の生活に悪影響を及ぼすため、現在の実施主体である事業者を交付対象者として、支援金を交付する。</p> <p>④期待される効果 新型コロナウイルス感染症の影響下においても、地域公共交通の安定運行の継続が図られることにより、鯖江市民の移動手段を縮小することなく維持ができ、生活交通の安定が確保される。</p>		
新型コロナウイルス感染症への対応(経済対策)との関係	<p>地域公共交通事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う利用者の減少が続いており、令和3年4月～6月の利用者数は令和元年の同時期に比べ、8割程となっており、令和2年の同時期からは回復傾向となってきてはいるが、業績については以前厳しい状況となっている。</p> <p>福井鉄道株式会社を交付対象者として支援金を交付し、地域公共交通事業の継続を支援する本事業は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けている地域経済の支援を通じた地方創生に資する事業に該当するものであり、地方創生臨時交付金を活用することが妥当である。</p>		